

県民スポーツ・レクリエーション久慈大会

村はグラウンドゴルフ

十月二十日、県民スポーツ・レクリエーション久慈大会（県教育委員会などが主催）は、壮年ボーリング、フォークダンス、ソフトボール、グラウンドゴルフなど久慈管内を会場にそれぞれ行われました。

村（村体育指導委員協議会など主管）では、小雨降りしきる中、グラウンドゴルフが、北緯四〇度多目的グラウンドと普代浜園地を会場に約八十人が参加して行われました。

多目的グラウンドでは、サケ汁の無料試食コーナーや特産品販売は、青葉グループの昆布かりんとう、ひまわりグループの普代地慢（ふかしまんじゅう）、机グループのキノコご飯などが、販売されました。

二ユースポーツ体験は、同会場で「アームレスリング」が行われ、大会を盛り上げてくれました。グラウンドゴルフには、県内から二十五チームが参加し、村

は六チームの参加でした。二つのコースに分かれて熱戦を繰り広げました。えんじゅコースは、中央区シーガルズチームが九



普代浜園地は傾斜が多くプレーする選手たちは大慌て

位、とりもチームは十一位、JF御座叩きチームが十二位、はまゆりコース（普代浜園地）は緑区チーム十位、上区チームが十一位、中央区Bチームは十三位でした。

見直しは、平成十三年度の介護保険サービスの利用実績と久慈管内で介護サービスを利用したことのある方、約八百人を対象に行った意識調査の結果をもとに、平成十五年から平成十九年までにどのくらいのサービスが必要か推計しています。

サービスの利用が増えることで、かかる費用も増えるので介護保険料は高くなっていきますが、皆さんの意見を取り入れながら負担が大きくなりすぎないようにサービスを充実させていきます。

介護保険事業計画は来年の三月に策定することからまだ途中段階です。今後の状況などで介護保険料の設定が変動することもあります。介護保険運営協議会（日沢常造会長・久慈市）で話し合われるほか、住民の皆さんには広報や久慈広域連合ホームページなどを通じてお知らせしていきます。



とりも青年音楽隊と合同で演奏する吹奏楽部員たち

永遠の光

普代中学校文化祭 一人一人が手をつないで

十月二十七日、普代中学校（寺林拓也校長、生徒百二十一人）文化祭は展示部門、バザー部門、ステージ部門の三部門に分かれ同中学校で行われました。

文化祭では、学年ごとの研究発表や神楽発表、選択音楽の発表、そして、ことし初めて取り組んだ吹奏楽部（澤口奈実部長・部員九人）と、とりも農村青年音楽隊（野口幹夫代表・メンバー十三人）との合同発表。「地域の方々と一緒になって演奏するこ

とは交流にもつながり、自らが豊かになり「ます」と、普代中の嵯峨理恵子吹奏楽部顧問は語ってくれました。

寺林校長は、「完全学校週五日制のもと、ゆとりの中で『生きる力』の育成に取り組んできました。本日の文化祭はその成果の一端です。地域、保護者の皆様からの援助やご協力に感謝申し上げます」と、あいさつ。生徒、教師、父兄ら参加者全員が感動を胸に文化祭を終えました。



第8回北緯40度はまゆりマラソン大会スタート

第9回 北緯40度 はまゆりマラソン大会

日時：11月17日（日）
9時20～（開会式）
コース：普代駅～普代浜折返しコース
全長42.195キロメートル

※ 詳しくは、村教育委員会
(TEL35-2117) へお問い合わせください。